

切迫流産・切迫早産の治療を受ける方へ（入院治療計画書）

患者氏名 _____ 様

経過	1日目：入院当日（ / ） 妊 娠 週 日	2日目以降	14日目： 妊 娠 週 日 （ ～退院日 ）
目標	正期産（妊娠37週）まで妊娠を継続できる ・入院の必要性が理解できる ・お腹の張りがわかる ・安静に過ごすことができる		・退院後の過ごし方がわかる ・外来の受診方法がわかる
治療・薬剤	☐ 安静治療 ☐ 薬物治療（お腹の張りを抑える薬） ☐ 内服薬  ☐ 持続点滴（お腹の張りの状態にあわせて点滴の量を調整します 必要時、補液なども行います） ・午前中に医師による回診が行われます		・出血などの症状が改善し、医師の許可がおりたら退院できます ・お腹の張りがなくなったら、またはお腹の張りを抑える薬で張りが抑えられたら退院できます ＊ 退院日について 入院期間は症状の改善具合により、短くなる場合や長引く場合があります
処置	・必要時膣洗浄や炎症を抑える治療薬の注入を行います		
検査	・内診（子宮口が開いていないか医師が診察します） ・胎児心拍モニター（ 回 / 日 ） ・超音波エコー検査 ・膣分泌物培養検査 ・早産マーカー検査（フィブロネクテン検査） ・破水が疑われる場合、破水の検査（チェックプロム検査） ・採血・採尿	・お腹の張りの状態に応じて内診があります ・お腹の張りや赤ちゃんの状態に応じて胎児心拍モニターの回数を増やすことがあります ・毎週金曜日 体重測定があります 	・退院前に胎児心拍モニター検査をします ・内診を行う場合もあります ＊ 母子手帳に入院期間を記載します （退院前日に母子手帳をお預かりいたします）
活動・安静度・排泄	安静度は ☐ 病院内の移動に制限はありません ☐ 病棟内の移動に制限はありません ☐ トイレ・洗面所のみ歩行可です ☐ ベッド上安静です（尿の管使用・排便のみポータブルトイレ可） ☐ ベッド上安静です（寝たまま・尿の管使用） ＊ 状態によって安静度は変わります	☐ 病院内の移動に制限はありません（ / ） ☐ 病棟内の移動に制限はありません（ / ） ☐ トイレ・洗面所のみ歩行可です（ / ）	・安静度の制限はありません ・日常生活の注意点について説明します ・母親・両親学級の受講をお勧めします ・おっぱい教室の受講をお勧めします ・お産入院の準備や育児用品の準備を進めましょう ・異常時（腹緊増強時・破水時・陣痛開始時）の連絡先は分娩室（0242－29－9903）です 
食事	☐ 常食（妊産婦食） ☐ 治療食 ・管理栄養士が食事に関する相談に応じます ・食事のアレルギーがある場合はお申し出下さい ・つわり症状がある場合はお申し出下さい		・退院後もバランスのとれた食事をとりましょう 
清潔	・子宮収縮が強い場合は、洗面・身体の清拭は看護師がお手伝いします ・症状が落ち着いたら点滴中でもシャワー浴が可能です		・入浴可能です ・破水した場合はシャワー浴・入浴はせず来院しましょう
説明	・血圧・脈拍・体温の測定をします ・切迫流早産についての不安や疑問はお申し出下さい ・出血が多い場合はナプキンを見せさせていただきます ・お腹の張りの原因になるため便秘が続く時はお知らせ下さい ・限度額適用認定および出産一時金委任払いの申請等は事務担当者が病室に伺いますのでお申し出下さい	・毎日午後検温があります（火、金血圧測定） ・毎日症状をお尋ねします （下腹部痛の程度・お腹の張り・出血・破水感など） ・入院中、書類の必要な方はお申し出下さい ・産科医療補償制度の申請がお済でない方はお申し出下さい 	・退院処方があればお渡します ・次回の受診日をお知らせします ・退院療養計画書、退院証明書をお渡します ・保険に関する入院証明書は入退院窓口での手続きとなります ＊ 入院費について（お支払いは1階入退院窓口です） 限度額適用認定証をお持ちの方で1ヶ月10万～11万円位（部屋の差額代のない方）です 

担当医 _____

担当看護師 _____

【竹田綜合病院 産科病棟】2009. 06作成